

日本にいる外国人特派員が2003年夏から1年間に大量に国外に移動

- ・2003年夏から1年間に外国人特派員100名が国外に移動している。
- ・この時期、アジア代表事務所の拠点が東京から上海等の国外都市に移動し、日本外国特派員協会(FCCJ)の会員が激減したと言われている。

さて、先のフォーリン・プレス・センター・ジャパン (FPCJ) によれば 2006 年 1 月 20 日現在、約 36 カ国・地域の報道機関の記者 631 人 (外務省発行の外国記者登録証保持者) が日本発のニュースを世界に発信している。ちなみにこれらの記者の内わけとその数の近年の変遷は以下の通りである⁶⁴。

2003 年 7 月 現在	外国人特派員 401 名	日本人スタッフ (記者) 402 名
2004 年 7 月 現在	296 名	283 名
2005 年 7 月 現在	357 名	356 名
2006 年 1 月 現在	318 名	313 名

(出典)

- 1) 東京財団研究報告書: 2006 - 1 日本の知的・文化的国際協力に関する総合戦略 (阿曾村 智子 東京財団リサーチ・フェロー)
<http://www.tkfd.or.jp/publication/reserch/2006-01.pdf>
- 2) フォーリンプレスセンタージャパン (FPCJ)
<http://www.fpcj.jp/j/about/index.html>
- 3) 日本外国特派員協会 (「外国人記者クラブ」や「プレスクラブ」とも呼ばれる)
<http://www.fccj.or.jp/index.php>